

インドネシア：予想外の再利上げ

情報提供資料 2018年11月16日

インドネシア中央銀行（BI）は、11月14、15日に開催された金融政策決定会合で、政策金利の指標である7日物リバースレポ金利を0.25%引き上げ6%とすることを決定しました。市場では据え置きが予想されていたため、予想外の利上げとなりました。利上げは今年の5月以降6回目となります。利上げ幅は合計で1.75%となりました。

通貨安定に向けた予想外の利上げ

BIは声明で、「米連邦準備制度理事会（FRB）が今後数か月の間に追加利上げに踏み切ると予想され、今回の利上げはその動きに対応したもので、今後も政府と協調して経常赤字を安全な範囲内に抑え、インドネシアの金融資産の魅力強化していくことを目的とする」と述べています。また、BIは利上げによる国内経済への悪影響を抑えるために、短期金融市場への流動性供給に向けて、いくつかのルールの変更を行いました。

更に、金融市場の多様化に向けて、金利のヘッジ手段として、新たに金利スワップ(IRS)と翌日物金利スワップ(OIS)の導入を決定しました。BIは9月の決定会合で、通貨ルピアのボラティリティの抑制のために、新たな金融商品としてDNDF（国内NDF）の導入を決定し、11月1日から運用を開始しています。これらの金融商品の導入により、短期金融や債券市場の活性化や効率化が期待され、国内金融市場の強化につながると考えられています。

予想外の利上げを受けて、通貨ルピアは上昇しました。ルピアの上昇を受けて、債券、株式市場ともに底堅い動きとなりました。10年国債利回りは前日比ほぼ変わらずの8.12%となりましたが、代表的な株価指数であるジャカルタ総合指数は前日比1.66%上昇しました。

今後の見通し

今回の利上げは予想外でしたが、BIはかねてから金融政策の対応を積極的および先制的に行うとしており、今回も今後数か月の間に、米国をはじめとする世界的な利上げの動きが予想されることから、通貨防衛のために予防的に前倒しで行う姿勢を示したものと考えます。

BIは通貨ルピアの安定のために、良好なマクロ経済の維持と、経常赤字の縮小を優先する姿勢を明確にしています。

利上げは通貨ルピアの下支え材料となることから、債券市場にとってポジティブな要因となると考えています。しかし、今後米中貿易摩擦の激化や予想を上回る米国の追加利上げ、その他の地政学的リスクなどにより、市場全体がリスク回避的な動きとなった場合は、さらに1-2回の利上げを行うものと予想しています。

債券市場については、すでに10月の下落時から大幅に回復しており、このレベルからの買いには投資家は慎重姿勢となる可能性もありますが、年内の債券市場の需給環境は良好であり、債券市場は堅調に推移するものと考えています。

（図表1）政策金利と10年国債利回りの推移

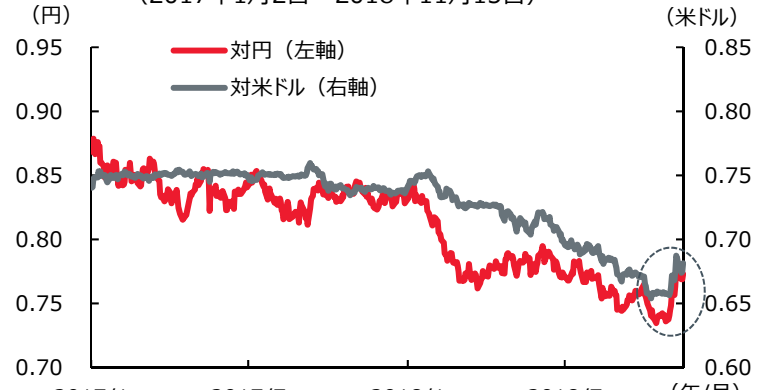
（2017年1月2日～2018年11月15日）



出所：Bloomberg L.P. のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

（図表2）インドネシアルピア（対円、対米ドル）の推移

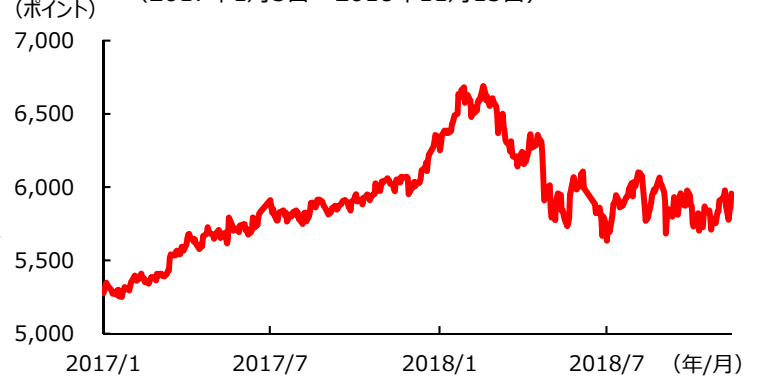
（2017年1月2日～2018年11月15日）



出所：Bloomberg L.P. のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
対円は100ルピア、対米ドルは10,000ルピア当たりの推移。

（図表3）ジャカルタ総合指数の推移

（2017年1月3日～2018年11月15日）



出所：Bloomberg L.P. のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

英国ブルデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会